

ポイント 02 学びを深める

疑問に思ったこと、もっと知りたいことなどはすぐに検索・収集できるようになりました。更に、収集した情報は、「ロイロノート」の思考ツールを活用してまとめたり、お互いの考えを共有したりしています。

他にも、問題用紙の配布時間や黒板に書いて発表する時間などが短縮でき、学習時間の確保にもつながっています。



理科の実験結果のまとめ！
思考ツールで自分の考えを整理



配信された数学の問題に
挑戦
早く解けたら次の課題へ

理解度に応じた個別学習も！

学習状況を把握しやすくなり、学習の理解度に合わせた対応にも取り組まれています。

学習意欲が向上

タブレットを使った学習は、子どもたちがより興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいると感じています。

今後もどんどん活用し、子どもたちの学習に役立てていきたいと思います。



学校の様子を
インタビュー

成器南小学校
教諭 上山 慎弥 さん

ポイント 03 表現・発信する

自分の考えや意見をクラスの全員と共有したり、発表したりする機会が増えるようになりました。子どもたちは、相手にわかりやすく伝えるための表現力や発信力を磨いています。



班内プレゼン
伝えたい内容を整理して、みんなに発表



考えや表現を発表
いろいろな人の考えや表現内容をみんなで共有



平泉寺をご案内
タブレットでよりわかりやすく
情報発信

これまでタブレットというと、児童生徒にとっては、ゲームや動画視聴などを行う「遊びのツール」というイメージが強く、実際にタブレットを持ち帰ることによって、悪影響をイメージされる方もいらっしゃいます。便利なツールであるタブレットを学習に用いることで、知りたい、調べたい、伝えたいといった意欲が湧き、主体的で深い学びへつながっていると実感しています。その他にも、学校行事のオンライン配信やおたよりの配付など、家庭とのつながりもタブレットを用いて積極的に行っていきたくと考えています。



勝山市教育委員会
指導主事 廣田 大吾

ポイント 01 つながる

市内外の学校との交流やオンライン学習などがこれまでよりも気軽にできるようになり、子どもたちは多様な意見や考えに触れています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、学校と各家庭とをオンラインでつなぎ、学習状況や健康状態などの確認も行っています。



他校と英語でオンライン交流

オンラインで「登校」「朝の会」

夏休み期間中の登校日や休日の朝の会をオンラインで実施



家庭の様子を
インタビュー



家でも楽しく 活用中！



鹿谷小学校 3年
佐野 幸音 さん

夏休みの間、なかなか会えなかった友だちとオンライン朝の会で話せてとても嬉しかったです。家では、お父さんにも教えてもらいながらクロームブックを使った勉強（キーボードで文字を打つ練習など）を頑張っています。

重要！「情報モラル」 正しい活用方法を学ぶ

インターネットやSNSは、これからの時代に欠かすことができないツールですが、使い方によっては、危険な側面も含まれています。

各学校では、道徳の時間や警察の非行防止教室などを通して、子どもたちに、使うときのルールやマナーなどを伝え、子どもたちは、正しく安全に活用する方法を学んでいます。

勝山市ICT教育アドバイザーの松田さんが講師としてオンライン指導



伝言版アプリをプログラミング中
(勝山南部中学校)

ギガスクール構想以前より始まっていたプログラミング教育。ネットワークを活用する力や物事を論理的に考える力を養うために行われています。これまで専用の機器を使っていたりしましたが、一人一台のタブレットが整備されたことによって、より一層充実した学習が行われています。

取材した勝山南部中学校では、技術の時間に、プログラミングでドローンを操作したり、簡単なアプリを作ったりする技術を学ぶとともに、課題を解決する力や自分から意見を発信する大切さなども学んでいます。

情報活用能力を育む プログラミング教育

子どもたちが活用する機能や学習方法を紹介

新たな学びのポイントは

各小中学校では、主体的・対話的な深い学びを目指すため、学年や教科ごとに合わせた様々な形でクロームブック(以下タブレット)を活用しています。ここでは、その一部をご紹介します。